2015年11月14日　「チーム神於山」有志活動報告

2015.11.18
シャープ社友会
社会貢献活動委員会

1．活動日時：2015年11月14日（土）　10：00 ～ 12：00
2．参 加 者：　5名　（社友ＧＳ　香遠さん・北浦さん・高瀬さん・岡森さん・真砂（記））
3．活動内容

- 11月14日は本来ＳＧＣ活動日ですが、10月24日（土）の合同活動日に前倒しされ休止になったことから、チーム神於山の有志で、フクロウの巣箱の観察を行いました。
- 入山した時は降っていませんでしたが、当日の天気予報はズバリ雨でしたから、先ずターフテント張りから活動を開始。
- 残念ながら巣の中に親鳥は見られず、営巣したかどうかは確認できませんでしたが、巣箱の上と横に設置したカメラは問題なく作動し、観察に支障はありませんでした。一安心です。
- 観察の後、トレイルカメラを付ける木を選び、ウェッブカメラの端子が雨に濡れないようにペットボトルのカバーを付けて作業を終了しました。
  参加いただいた５名のＧＳの皆さん、お疲れ様でした。

4．今後の観察

- 巣箱に設置しているカメラは内部観察用ですから、フクロウが営巣し、抱卵が始まってからは役立ちますが、営巣するまでは、赤外線トレイルカメラによる外部からの長期定点観察が有効です。
- そこで昨年自費でカメラを購入され、観察に貢献された社友ＧＳの山本さんに無理をお願いして１台お借りし、近々10月24日に架けた２台の巣箱を対象に観察を開始します。
- “どちらの巣箱でも構わないので、今年も営巣して欲しい。”というのが皆の願いです。

■フクロウの巣箱の営巣確認ー１　　観察は、今年初めて作った上穴式巣箱からはじめました。

まず雨対策でターフテントを張り、今回初めて作った上穴式巣箱をチェック。営巣は確認できませんでした。

上からのカメラアングル。明るくばっちりです。

横からのカメラングル。良い位置です。

- 上穴式巣箱は、光が上の穴から素直に入るので、内部は明るく、観察には好都合です。
- フクロウにも都合が良ければいいのですが・・・

■フクロウの巣箱の営巣確認－２　　昨年営巣した横穴式巣箱で、昨年と同じ木に架けています。

上穴式と同じように巣箱の中を観察。　　やはり営巣は確認できませんでした。

上からのカメラアングル。観察には問題なし。

横からのカメラングル。光は十分です。

■ペットボトルで USB 端子を保護しました。　　雨対策もこれで万全です。

- ウェッブカメラの USB 端子は、雨水がかからないように、ビニールの子袋に入れ、更にペットボトルに下から差し込んで収納するようにしました。
- コードは、上と横のカメラの 2 本ありますから、ボトルの口から抜け落ちる心配はありません。

■活動頂いたチーム神於山の有志の皆さん。　　皆さん良い笑顔です。

・ターフテントの中で一枚。結局雨は降りませんでしたが、それはさておき、テントの中では、フクロウの話だけではなく会社のことから世界のことまで話題が飛び交い、結構賑やかでした。

・皆さん良い笑顔です。

■自然の恵み記念撮影　　シイタケとムベ。人間の活動と自然の動きはなかなかシンクロしません。

・シイタケは、前回の活動日には出ていませんでしたが、今回はお化けも混ざったものの、結構収穫できました。
・ムベは、時期的には最盛期は過ぎていて、下の写真のように熟して落果したものがある一方、左の写真のようにまだ青いものがあり、判断の難しいところです。

以上